

# 平成30年度 高鍋高校OB祭 『結(ゆい)』

～むすぶつながる ひろがる未来～



記念講演『脳科学からみる、これからの社会で必要とされる力と育み方』

講師 茂木健一郎氏

1962年10月20日東京生まれ。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現在に至る。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の間を研究するとともに、文藝評論、美術評論などにも取り組みながら、作家、ブロードキャスターとしても活躍。



発行  
宮崎県立高鍋高等学校 同窓会  
宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋 4 2 6 2  
TEL 0983・23・0005  
FAX 0983・23・5096  
URL <http://www.narumigaoka.jp/>

## OB祭日程

- ◆平成30年8月11日(土・祝日)  
7:30～終日 OB祭ゴルフコンペ  
会場：宮崎座論梅GC
  - ◆平成30年8月12日(日)  
12:00～13:30 ①鳴海ヶ丘会総会  
場所：たかしんホール会議室(高鍋町中央公民館)
  - 13:30～ ②OB祭  
場所：たかしんホール(高鍋町中央公民館)
  - 13:30～14:30 オープニングイベント  
在校生による書道パフォーマンス・吹奏楽演奏  
ホール内にて美術部・写真部による展示
  - 14:30～16:00 記念講演『脳科学からみる、これからの社会で必要とされる力と育み方』  
講師：茂木健一郎氏
  - 17:30～ ③OB祭懇親会  
(17:00～受付開始) 場所：ホテル四季亭
- 主催：鳴海ヶ丘会(宮崎県立高鍋高等学校同窓会)  
主管：平成30年度高鍋高校OB祭実行委員会(平成7年卒)  
後援：高鍋町

## 2018 高鍋高校 OB祭



平成30年度高鍋高校OB祭実行委員会を代表してご挨拶申し上げます。私たち平成7年卒業生は昨年6月に準備委員会を立ち上げ、歴史と伝統ある高鍋高校OB祭を担当する大きな責任と喜びを感じながら、準備を進めてまいりました。この間、鳴海ヶ丘会の皆様、そして地域の皆様にご支援ご協力をいただいたこと、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

さて、今年度のOB祭は『結(ゆい)』(むすぶつながる ひろがる未来)をテーマに掲げました。実行委員や県内在住の同窓生だけでなく県外の同窓生も共に繋がりながら、私達個々の情熱を結集してOB祭を盛り上げること。このOB祭に参加する多くの方々と繋がり皆様に喜んでいただくこと。そして、地域が繋がっていくことへの思いを込めました。

記念講演会では脳科学者の茂木健一郎氏を講師としてお招きし、『脳科学からみる、これからの社会で必要とされる力と育み方』をテーマとした講演をしていただきます。テレビなどでも馴染みの茂木健一郎氏は、脳と心の関係を研究すると共に作家、ブロードキャスターとしても活躍されています。急速に変化する現代社会や地域でこれからの必要とされる力とは何か!ぜひ、ご堪能ください。

また、オープニングイベントではOB祭を通じて現役高校生と交流することを目的に高鍋高校文化部のご協力をいただいております。日々頑張る高鍋高校生の姿をご覧ください。

その他、恒例のゴルフコンペや大懇親会など盛りだくさんの内容をご用意しておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

最後に申し上げますが高鍋高等学校と鳴海ヶ丘会の更なる発展と皆様のご健勝をお祈りしながらご挨拶とさせていただきます。

今年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

平成30年度 高鍋高校OB祭の開催について

平成30年度高鍋高校OB祭実行委員会 啓二

実行委員長 岡本 啓二

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

今年度は生活情報科最後の年、生活文化科へ変わり行く。さらに来年度は、探究科学科と普通科キャリア情報クラスが新設と、まさに高鍋高校変革の時。たくさんの人、物、場所がないで来た歴史と伝統ある高鍋高校に三度目の赴任をすることになった意味を考え、『守るべきもの』と『変化するべきこと』を模索し、自分自身も変革の時になりたい。

なんきんはぜ



### 平成29年度 同窓会費収支決算書

収入金額 4,224,295円  
支出金額 3,746,631円  
繰越金額 477,664円

収入の部 (単位 = 円)

費目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	3,854,400	3,844,400	-10,000	803名×400円×12ヶ月
繰越金	378,287	378,287	0	
特別収入	0	0	0	
雑収入	0	1,608	1,608	預金利息
合計	4,232,687	4,224,295	-8,392	

支出の部 (単位 = 円)

費目	予算額	決算額	残額	摘要
事務費	100,000	88,906	11,094	事務用品、葉書き代
会議費	170,000	194,881	-24,881	三役会、理事会、評議員会
事務局費	50,000	32,000	18,000	事務局会議費
事業費	1,515,000	1,395,646	119,354	
OB祭関係費	230,000	230,000	0	OB祭実行委員会援助 H29年OBへ200,000、H30年OBへ30,000
支部援助費	365,000	359,030	5,970	支部援助
卒業生費	90,000	78,012	11,988	卒業記念品(図書カード)、 育英会表彰
事業推進費	360,000	342,016	17,984	理事会旅費、各支部資料送付料等
広報費	190,000	146,448	43,552	鳴海ヶ丘会々報、送付料
人件費	180,000	180,000	0	館長謝礼、事務人件費
ホームページ管理費	100,000	60,140	39,860	管理者への手当
鳴海ヶ丘会館維持費	800,000	800,000	0	燃料・電気・水道・火災保険料 消耗品・備品費
旅費	600,000	435,198	164,802	各支部総会旅費
特別積立金	300,000	300,000	0	100周年特別積立
改修積立費	500,000	500,000	0	鳴海ヶ丘会館 大規模改修積立
雑費	0	0	0	
予備費	197,687	0	197,687	
合計	4,232,687	3,746,631	486,056	

(収支) 4,224,295円 - 3,746,631円 = 477,664円 (繰越金額)

### 平成29年度 鳴海ヶ丘会 事業報告

宮崎県立高鍋高等学校同窓会

日	内容
4月 7日(金) 22日(土) 27日(木)	会計監査 15:00～16:30 PTA総会 平成29年度明倫奨学金奨学生発表 第1回三役会 18:30～19:30 鳴海ヶ丘会館 (会長・副会長2名、校長、事務局長、H29OB祭実行委員 合計8名出席)
5月 16日(火) 22日(月)	OB職員歓迎会 高鍋ギョーザ 12名出席 理事会 18:30～ 鳴海ヶ丘会館 (会長・副会長3名、校長、事務局長、H29OB祭実行委員等 合計24名出席)
6月 17日(土) 18日(日) 30日(金)	在京支部同窓会総会 ホテル ニューオータニ 12:30～16:00 (会長、校長、事務局長出席) 近畿宮崎県人会総会 ホテルヒルトン大阪 12:00～ (校長出席) 評議員会 18:30～ 66名出席 終了後懇親会 54名出席 ホテル四季亭
7月 3日(月) 23日(日) 28日(金)	明倫奨学金振込日 関西高鍋高校同窓会総会 12:00～15:00 道頓堀ホテル (会長、校長、事務局長出席 82名出席) 鳴海ヶ丘会報 67号発刊
8月 11日(金) 12日(土)	高鍋高校「鳴海ヶ丘会」平成29年度OB祭(実行委員・H6年卒) テーマ「楽しむ」 11日 ゴルフコンペ 12日 総会 12:00～12:45 (54名出席) 記念講演 懇親会 第2回三役会 10:00～11:00 高鍋町中央公民館
10月 27日(金) 28日(土)	鳴海ヶ丘会々報 68号発刊 OB祭引継会 18:00～ ホテル四季亭 (40名出席)
11月 11日(土) 17日(金) 25日(土)	名古屋支部総会 12:00～15:00 アパホテル名古屋栄店 1F「ステーキ&ハンバーグ」 (会長、校長、事務局長出席) 宮崎地区合同懇親会 18:30～21:30 ニューウェルシティ宮崎 (会長、校長、事務局長出席 75名出席) 福岡支部総会 西鉄イン福岡 17:00～19:30 (会長、校長、事務局長出席 39名出席)
1月 27日(土) 30日(火)	川南支部総会 18:00～20:00 プライダルホール竹乃屋 (会長、校長、事務局長出席 66名出席) 第3回三役会 19:10～20:00 鳴海ヶ丘会館 (会長、副会長3名、校長、事務局長 合計6名出席)
2月 1日(木) 28日(水)	明倫奨学金振込日 同窓会入会式・鳴海ヶ丘会々報 69号発刊
3月 22日(木) 27日(火)	OB職員送別会 19:00～ 嶋うた 11名参加 明倫奨学金審査委員会 16:00～16:30 (会長、副会長1名、事務局長 合計8名出席)

### 平成29年度 鳴海ヶ丘会館収支決算報告書

収入金額 2,708,090円  
支出金額 2,423,644円  
繰越金額 284,446円

収入の部

項目	金額	備考
繰越金	388,538	平成28年度より
改修積立金	1,212,049	積立金解約、利息
高校同窓会	800,000	会館維持費
会館使用料	307,500	
雑収入	3	預金利息
合計	2,708,090	

支出の部

項目	金額	備考
燃料費	71,263	ガス、灯油
電気料	530,378	電灯、電力
水道料	170,865	
防災費	156,920	消防用設備等点検料
修繕費	72,024	浄化槽維持管理委託料
火災保険料	87,360	
消耗品・備品費	1,334,834	洋式トイレ設置、業務用電気炊飯器代他
合計	2,423,644	

### 平成29年度 高鍋高校同窓会「明倫奨学金」収支決算報告書

収入金額 14,716,023円  
支出金額 974,607円  
繰越金額 13,741,416円

収入の部

項目	金額	備考
繰越金	13,334,440	平成28年度より
寄付金(高信)	1,140,000	平成29年度
寄付金(郵貯)	241,470	平成29年度
雑収入	113	預金利息
合計	14,716,023	

支出の部

項目	金額	備考
明倫奨学金	960,000	240,000円の4名
事務費	14,607	お礼状送付料、収入印紙代
合計	974,607	



### 事務局からの連絡

○明倫奨学金報告とお礼について

同窓会事務局長 檜室 秀幸  
明倫奨学金に平成29年度は1企業、4団体、22個人から寄付を賜りました。誠にありがとうございました。どうか今後とも変わらぬ御支援のほどお願い申し上げます。

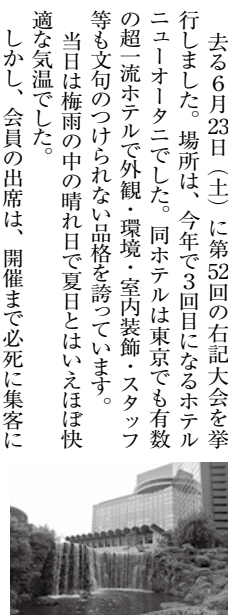
明倫奨学金寄付者(平成30年1月以降)

川南支部同窓会様、関西支部同窓会様  
※寄付者の公表は、同窓会支部、OB祭実行委員会、卒業生一同様に限らせて頂いております。企業及び個人の寄付者の公表は行っておりません。

- (1) 高鍋信用金庫  
銀行名 高鍋信用金庫本店(店番号001)  
口座番号 1360949  
口座名義 高鍋高校同窓会 育英会  
代表 増田 秀文  
※寄付金から手数料を差し引いた金額をお振り込みください。
- (2) ゆうちょ銀行  
銀行名 ゆうちょ銀行  
口座番号 01700-9-141513  
加入者名 宮崎県立高鍋高等学校同窓会「鳴海ヶ丘会」  
※寄付金から手数料を差し引いた金額をお振り込みになるか、事務局が用意いたしました専用払込取扱票をご利用ください。

### 平成30年度在京同窓会総会・懇親会を終わって

事務局長 小牟田 康彦



去る6月23日(土)に第52回の右記大会を挙行しました。場所は、今年で3回目になるホテルニューオータニでした。同ホテルは東京でも有数の超一流ホテルで外観・環境・室内装飾・スタッフ等も文句のつけられない品格を誇っています。当日は梅雨の中、晴れ日とはいえは快適な気温でした。

しかし、会員の出席は、開催まで必死に集客に努力した幹事たちの期待通りには伸びず、来賓を含めて100名弱でした。これは今後執行部が考えるべき問題点ではありましよう。とはいえ、今年の総会・懇親会は滞りなく、参加者一同満足感を覚える中で終了したことは喜ぶべきことでした。

大会は、総会と懇親会の二部構成でした。総合同会は、平成7年卒の岩切仁志君でしたが、職務上の経験と生来だろう感の良さで度胸で実に手際よく会を仕切ってくれました。

総会の冒頭は在京同窓会会長の大澤忠廣さん(S32)による挨拶でした。会長は自分が発表し立ち上げたホームページに対する関心がさらに高まり、同窓会の発展に繋げたいという期待感が印象的でした。来賓の祝辞・挨拶は鳴海ヶ丘会会長の増田秀文様(S44)と高鍋高等学校校長の児玉康裕様にお願しました。

増田会長は今回のご出席が会長としては最後になることを明かされたので、長年のご指導・支援に、後ほど乾杯の音頭を取った顧問の中野英樹さんも厚く感謝する旨の謝辞を述べました。

来賓の方々は、時間の関係で、ご紹介だけにとどめましたが、去年もご出席くださった宇田津一郎先生(元高鍋高校他の校長、S30年)と児湯郡の町長を一人代表した形の川南町長日高昭彦様だけには特にテーブルでハンドマイクをお渡ししてお言葉をいただきました。

総会を締めくくる議事では、私が議案4点を説明し、満場の拍手で全ての議案の承認を得ました。これによって、大澤忠廣さんの会長留任が正式に決議されました。

今年の懇親会の目玉は、柳家はたるさんによる落語でした。はたるさんは柳家権太楼門下の二つ目で、演目は「皿屋敷」という幽霊物でした。お父上(故人)と私との個人的関係で出演を依頼したのですが、はたるさんの奥様の御父上が高鍋高校の卒業である日高一宇さん(S38、九州高専教授)であることが、奥様から知らされ、不思議な縁に感じ入ったものです。

懇親会は宴酌になる前に、鳴海ヶ丘会事務局長の檜室秀幸先生の活動報告がありました。先生は高校のラグビー部の監督です。ラグビー部の活動状況が紹介されました。その直後に、鳴海ヶ丘会事務局次長に就任されている高木美里先生にも壇上で顔をみせ一言挨拶して欲しいという声があがり、高木先生はご自分が監督をしている女子ホッケー部の活躍について報告されました。

懇親会を盛り上げた最大の要因は、黒木本店様、霧島酒造様、雲海酒造様ご提供による豊富な焼酎と都農町役場様御手配の都農ワインでした。さらに多くの会員と来賓各位全員に差し上げた甲斐製茶様ご提供の新茶もたいへん喜ばれました。

そして、フランスレストラン「モナリザ」のオーナーシェフ河野透様(S51)と「にやわん」の経営者小澤拓郎様(H11)が持参してくださった多額の食事券は景品抽選会での垂涎の的でした。

本誌をお借りして、以上の協賛各社様に、改めて深甚の感謝を申し上げます。

最後になりますが、わざわざ時間と経費を惜しまず、遠方から参加してくれた高鍋OB祭の方々にも感謝の意を表します。

(写真撮影：S33卒児玉勇氏)

新同窓会事務局長・次長 あいさつ



同窓会事務局長 榎室 秀幸

この度、同窓会の事務局長に就任することになりました。伝統ある母校に勤務できる喜びとこの職に就く重責を感じつつ、創立100周年に向けて、陰ながら、そして微力ながら卒業生の歩みを繋げていきたいと考えております。全国各地でご活躍の卒業生の、今後益々の発展を祈念し挨拶に代えさせていただきます。



同窓会事務局長次長 高木 美里

高鍋高校OB職員は事務局担当として、活動していますが、恥ずかしながらこれまで、ほとんど協力できずにいました。今年度より新体制となり、しっかり務めていけるのか不安もありますがOB職員、また同窓会の皆様からの力をお借りして歴史と伝統のある高鍋高校の名をこれからも広めていけるよう、精一杯務めていきたいと思っております。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。



平成29年度 出身中学校別生徒数

Table showing the number of students by school type and region for the 2017 fiscal year. Columns include school type (普通科, 生活文化・生活情報科), year (1年, 2年, 3年), gender (男, 女), and total count.

◆ 平成29年度 進路状況 ◆

1. 進学・就職合格者数(過去5年間)

Table showing the number of students who passed university entrance exams and found jobs from 2014 to 2018. Columns include category (進学, 就職), year, and count.

2. 主な大学年度別合格者数(過去5年間、含過年度生)

Large table listing the number of students who passed university entrance exams by university and year from 2014 to 2018. Includes categories like National University, Private University, and Short-term University.

3. 主な短大・準大・高看等の年度別合格者数(過去4年間、含過年度生)

Table showing the number of students who passed entrance exams for short-term colleges, junior colleges, and vocational colleges from 2014 to 2018.

4. 就職状況(過去5年間。自衛隊・公務員は合格者数、それ以外は最終就職者数。過年度生を含まず)

Table showing the employment status of graduates from 2014 to 2018, categorized by industry (e.g., Manufacturing, Construction, Public Service).

※東京学芸大・広島大・岡山大・熊本大・鹿児島大・琉球大等 国立大52名合格
※宮崎大15名合格
※早稲田大・同志社大・立命館大 関西大・西南学院大・福岡大等 私立大学137名合格
※一般就職8年連続100%達成
※自衛隊曹候補生8名合格
※宮崎県警2名合格



表彰関係

Table with columns: 大会名, 競技・部名, 個人or団体, 競技種目, 成績, 学年, 氏名, 上位大会. Includes results for 平成30年度宮崎県高等学校総合体育大会 and 第8回宮崎県高等学校7人制ラグビーフットボール大会.

Table with columns: 大会名, 競技・部名, 個人or団体, 競技種目, 成績, 学年, 氏名, 上位大会. Includes results for 第34回成田山全国読書大会 and 第35回宮崎県高等学校席上揮毫大会.

九州大会を終えて

ラグビー部主将 清山 総介
熊本市で行われた九州大会の一回戦で全国大会準優勝の経験もある強豪佐賀工業高校と対戦しました。近年の対戦では接戦の末に敗ることが多く、また2月の九州新人大会でも僅差で負けました。3月に埼玉県熊谷市で行われた全国選抜大会で全国の強豪校と戦い、チームがレベルアップしたことも感じているので、今大会で佐賀工業を倒し、高鍋高校ラグビー部の歴史を変えようと試合に臨みました。ところが、猛暑の中で体が動かず練習してきたディフェンスも崩壊し、思いがけない大敗を喫してしまいました。本気で勝つつもりでいただけにこの大敗はショックでもありますが、敗因はよく理解できています。私たちが足りない要素を身に付けるために、厳しい練習に耐え、冬に向けて高鍋高校が大きく飛躍することを誓います。



ラグビー部

全国大会に向けて

ラグビー部主将 日高 優希
私たち3年生にとって高校生活最後の総体九州予選で準優勝し、全国への切符を勝ち取ることができました。この九州大会はどの試合も接戦でとても厳しい試合となりました。しかし、最後まで諦めず、粘り強くプレーし、「絶対に勝つ！」という皆の気持ちが一つになったことで、勝利をつかめました。今後の課題はたくさんありますが、準備できたことは、素直に嬉しく、チームとしても自信が蓄わりました。全国大会では、九州代表として胸を張って戦いたいと思います。全国大会まであと一ヶ月程しかありませんが、この期間で今回の反省点をさらに改善していくのが私たちの課題なので、日々の練習時間を大切にしたいです。



ホッケー部

席上揮毫大会を終えて

書道部顧問 長友 瑞枝
書道部の高校総体ともいえる席上揮毫大会が宮崎西高校で行われ、県内最多の二十八名で出場しました。四月から平日はもちろんな土・日も休まず練習してきました。結果、個人で三位、優秀賞に十名入賞し、各々が今までの練習成果を出し切ることができました。応援の数も最も多く有り難い限りでした。応援の数も最も多く有り難い限りでした。



書道部

明倫奨学生 近況報告

平成26年度 奨学生 馬渡 大輝

早いもので学部生としての4年間の大学生活も残すところわずかとなりました。4年生の後期にあたる今期はそのまとめで、研究を行ってきました。私の研究は、ヘキサメチレンテトラミンという化合物についてその生成時における同位体分別のメカニズムを解明しようということに動機としていました。さらにはこの研究結果から、宇宙空間における化合物生成過程を明らかにするためのヒントを得られるのではないかと考えています。私の研究結果からはまだ、考察を深めるのに十分な量を得られていませんが、手応えは感じています。自分自身で得られた結果から考察し、それをポスターや論文の形にまとめる一連の流れを通して、これまで知られていなかったことを試行錯誤しながら追究することに面白さを感じることができました。春からは九州大学で大学院への進学を予定していますが、そこでも引き続きこのテーマについて継続して研究を行うことで私の考察を深めたいと考えています。また、大学院2年の課程を修了した後には就職を考えています。そのため、今の私の能力を生かすための成長できるような就職先について調べる必要があると感じています。そのことも含めてこれからの2年間が充実したものになるよう生活していきたいつもりです。

平成27年度 奨学生 小松 愛沙美

大学3年も終わりに来年度から4年になります。もう大学生活最後の年と思うととても早く感じます。3年後期では、社会福祉士援助技術現場実習も終わり、その後の学びを講義でそれぞれに発表し、話し合いを行うことで、自分の足りないことが何かわかりました。考え方を磨くことが出来ました。また、発表することで実習の学びをより深く考えることができた。今の児童福祉の置かれている状況について学ぶことが出来ました。泊まり込みでの実習は決して楽なものではありませんでしたが、福祉現場について学ぶことはもちろんのこと、自分を見つめ直す機会にもなりました。この実習を終えたことで自分自身を持つようになった。より一層福祉分野で働きたいと思うことが出来ました。そして、社会福祉士の国家試験に対する意欲も増えました。

平成28年度 奨学生 生島 絵美子

私が甲子園大学栄養学部栄養学科に入学して2年生としての学校生活が終わり、後期からの学校生活を学習面と生活面に分けて報告いたします。まず、学習面では実習が多くありました。妊婦や高齢者など各ライフステージに合わせた献立を作ったり、給食経営で大量調理を経験したりしました。大量調理ではいかに衛生的に迅速に美味しく出来るか考えるのが難しかったです。来年度は大量調理の人数も多くなり、食券も販売してお金をもらうことにもなるので、もっと頑張りたいです。また、教職の授業では、グループワークでいじめについて話し合ったり、学習指導案を作ったりしました。今の教育問題について色濃く考えることが出来たのでとても勉強になりました。2月末には、栄養士を目指す学生を対象とした研修会に参加し、様々な職場で実際に働いている栄養士の方々と仕事内容や今の自分が必要としていることを学びました。3年生からは、病院や給食センターなどに臨地実習に行きます。そのときに現場の方としっかりコミュニケーションが出来るように復習をしっかりしていきます。